



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月31日

上場会社名 ニフティライフスタイル株式会社 上場取引所 東
コード番号 4262 URL <https://www.niftylifestyle.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 成田 隆志
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 浅野 雄太 (TEL) 03(5937)3567
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		EBITDA ※		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,227	27.3	226	93.3	334	76.2	227	93.8	142	203.1
2025年3月期第1四半期	963	28.6	117	△32.3	189	△14.1	117	△33.1	46	△59.7

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 142百万円(203.1%) 2025年3月期第1四半期 46百万円(△59.7%)

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	22.35	22.27
2025年3月期第1四半期	7.38	7.35

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	6,880	5,802	83.9
2025年3月期	7,016	5,803	82.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 5,770百万円 2025年3月期 5,775百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	9.00	—	23.00	32.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	27.00	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		EBITDA		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	5,324	7.8	1,072	6.8	1,523	10.5	1,070	7.5	692	108.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	6,369,175株	2025年3月期	6,369,175株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	30株	2025年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	6,369,159株	2025年3月期1Q	6,365,330株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(収益認識関係)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2025年4月1日～6月30日)における我が国経済は、雇用や所得環境の改善等を背景に緩やかな回復基調となりました。一方で、物価上昇に加え、米国の政策動向や地政学的リスクの高まり等の世界情勢の不確実性もあり、依然として先行きの不透明感が続いております。

こうした環境の下、「思いやりとテクノロジーで、一人ひとりの『幸せな暮らしの意思決定』を支え続ける。」をパーパスに掲げる当社グループは、2030年3月期に向けた新たなビジョン「『人生100年時代の意思決定』を支える企業へ」を策定いたしました。本年5月に公表した中期経営計画は、この新ビジョン下での5か年計画として、多様なライフスタイルに伴う意思決定を支援するLIFE STYLE領域と、企業や働く人の意思決定を支援するWORK STYLE領域の2つの事業ドメインから、人生100年時代の意思決定を支える企業を目指す内容になります。計画初年度となる2026年3月期は、LIFE STYLE領域における住まいカテゴリーを中心とした売上成長を図るとともに、今後5か年における経営戦略・事業戦略を踏まえた事業基盤の構築や、中長期的な成長を見据えた人材投資やオフィス関連投資等も推進する計画です。

当第1四半期連結累計期間につきましては、LIFE STYLE領域の住まいカテゴリーが業績成長を牽引しました。カテゴリーのコア事業であるニフティ不動産では、一人ひとりの志向に合わせた接客を実現するためにアプリのUI/UX(注1)改善に継続的に取り組んでおりますが、主には購入領域でのアプリダウンロード数増加やリピートユース施策がユーザー利便性の向上や送客数の安定的な確保につながり、売上高の堅調な推移に寄与しました。株式会社ドアーズが運営する「外壁塗装の窓口」では、当社ニフティ不動産マーケティングチームとの協業を通じた相互送客強化、有償プロモーション最適化等を引き続き進めてまいりました。また、本年6月からはアドバイス(相談する)サービスとして、新たな住まい探しサポートサービス「住まい探しの窓口」の提供を開始いたしました。ウェルネスカテゴリーでは、本年6月末時点での電子チケット導入施設数は219店舗、ニフティ温泉累計登録会員数は106万人を突破しました。今後に向けては、集客したユーザーの会員化推進によるリピートユースの促進やユーザー単価の引上げ等を通じた、ウェルネス領域での事業構築への取り組みを進めてまいります。

もう一つの事業ドメインであるWORK STYLE領域では、販売・マーケティング支援カテゴリーを強化しており、SaaSツール提供によるストック型収益の安定的な成長に加え、広告運用サービスのクライアント数増加が業績に寄与しました。この領域では、アドバイス事業の更なる成長に加え、新規事業構築を通じたサーチ事業の本格展開等により、中期的な成長の柱の構築を目指します。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,227百万円(前年同期比27.3%増)となり、第1四半期としては過去最高を更新いたしました。利益面につきましては、営業利益は226百万円(前年同期比93.3%増)、経常利益は227百万円(前年同期比93.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は142百万円(前年同期比203.1%増)となりました。また、M&Aの推進等による償却費用の増加を踏まえて前期より新たに開示項目に追加したEBITDAにつきましては334百万円(前年同期比76.2%増)となっております。

なお、当社グループは、「行動支援サービス事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(注) 1 UI: User Interface サービスの画面表示や機能の操作性・利便性
UX: User Experience サービス等の利用を通じて利用者が得る体験

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は6,880百万円となり、前連結会計年度末に比べ136百万円減少いたしました。

流動資産は4,854百万円（前連結会計年度末に比べ156百万円の減少）となりました。その主な要因は、売上債権の回収により売掛金が113百万円、債務支払い等により現金及び預金が58百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定資産は2,025百万円（前連結会計年度末に比べ19百万円の増加）となりました。その主な要因は、本社オフィス移転に伴う資産の新規取得等により建物及び構築物が35百万円、工具、器具及び備品が34百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は1,077百万円となり、前連結会計年度末に比べ136百万円減少いたしました。

流動負債は900百万円（前連結会計年度末に比べ134百万円の減少）となりました。その主な要因は、法人税の支払いにより未払法人税等が119百万円減少した一方、事業投資の推進等により未払金が24百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は177百万円（前連結会計年度末に比べ1百万円の減少）となりました。その主な要因は、株式会社ドアーズの顧客関連資産等に対する繰延税金負債が4百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は5,802百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円減少いたしました。

その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が142百万円増加した一方、配当金の支払いにより利益剰余金が146百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月7日付の「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,182,019	4,123,177
売掛金	741,971	628,091
敷金及び保証金	55,357	55,357
その他	35,281	51,618
貸倒引当金	△3,191	△3,438
流動資産合計	5,011,437	4,854,807
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,718	63,418
工具、器具及び備品（純額）	11,097	45,385
有形固定資産合計	38,815	108,804
無形固定資産		
のれん	1,013,412	974,116
ソフトウェア	284,472	280,846
顧客関連資産	483,888	473,055
その他	686	655
無形固定資産合計	1,782,460	1,728,674
投資その他の資産		
投資有価証券	18,550	18,550
繰延税金資産	109,676	113,619
敷金及び保証金	54,082	54,082
その他	7,396	7,278
貸倒引当金	△5,431	△5,675
投資その他の資産合計	184,274	187,854
固定資産合計	2,005,549	2,025,333
資産合計	7,016,987	6,880,140

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	261,434	242,215
未払金	295,640	320,239
未払費用	60,228	65,514
未払法人税等	222,170	102,954
未払消費税等	69,454	57,890
賞与引当金	67,459	34,231
事務所移転費用引当金	7,179	7,179
資産除去債務	23,864	21,725
その他	27,681	48,347
流動負債合計	1,035,113	900,297
固定負債		
資産除去債務	9,387	9,394
繰延税金負債	167,846	163,247
その他	1,295	4,438
固定負債合計	178,529	177,080
負債合計	1,213,643	1,077,377
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,262,574	1,262,574
資本剰余金	1,179,210	1,179,210
利益剰余金	3,333,381	3,329,242
自己株式	—	△35
株主資本合計	5,775,167	5,770,992
新株予約権	28,177	31,770
純資産合計	5,803,344	5,802,763
負債純資産合計	7,016,987	6,880,140

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	963,895	1,227,072
売上原価	286,970	286,933
売上総利益	676,925	940,139
販売費及び一般管理費	559,697	713,525
営業利益	117,228	226,613
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	0
雑収入	904	859
営業外収益合計	905	859
営業外費用		
支払利息	3	—
為替差損	774	146
雑損失	84	20
営業外費用合計	862	166
経常利益	117,271	227,306
税金等調整前四半期純利益	117,271	227,306
法人税、住民税及び事業税	36,096	93,497
法人税等調整額	34,212	△8,542
法人税等合計	70,309	84,955
四半期純利益	46,961	142,351
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,961	142,351

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	46,961	142,351
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	46,961	142,351
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,961	142,351
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、行動支援サービス事業を営む単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	46,231千円	68,428千円
のれんの償却額	26,278千円	39,295千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社グループは、行動支援サービス事業を営む単一セグメントであり、主要な顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

なお、当社グループでは2023年に策定した前中期経営計画の定量目標を1年前倒しで達成したことを踏まえ、新たな中期経営計画を策定しております。新中期経営計画では、多様なライフスタイルに伴う意思決定を支援し人々の豊かな生活に貢献するLIFE STYLE領域と、企業や働く人の意思決定を支援し生産性向上や企業競争力の向上に貢献するWORK STYLE領域の2つの事業ドメインから、人生100年時代の意思決定を支える企業を目指すことといたしました。これに伴い、顧客との契約から生じる収益について、新たなドメインに合わせた集計とするよう、当第1四半期連結会計期間より記載を変更しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の記載を当第1四半期連結累計期間の表示に合わせて注記の組替えを行っております。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
顧客との契約から生じる収益		
LIFE STYLE領域	812,835 千円	1,063,753 千円
WORK STYLE領域	151,060 千円	163,319 千円
顧客との契約から生じる収益 計	963,895 千円	1,227,072 千円
その他の収益	— 千円	— 千円
外部顧客への売上高	963,895 千円	1,227,072 千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。